



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2008 - 2009 年度 RI 会長 李 東建 (リ トンカン)

魚津 R.C 会長 大村 雅紹

第 266 回 例会報告

2009 年 2 月 6 日

ゲスト並びにビジター紹介 ゲスト なし ビジター 大城 宗文氏 (魚津西 R.C) 米山奨学生 リー・ホー君

誕生祝 なし

会長挨拶 大村会長 皆さん今日は、西クラブの大城さん、リー・ホーさんようこそお出でくださいました。ごゆっくりして行って下さい。



二月に入り立春も過ぎましたが相変わらず穏やかな天気が続いています。何よりと思う反面、こういう状態でよいのか案じている次第でございます。私は一昨昨日と一昨日、静岡・関西を回ってきました。米原で伊吹山を見ましたら上の方がほんの僅かだけ雪がありました。北電の支社長に聞きますと有峰も昨年の半分以下の積雪だそうです。こういう状態が良いかどうか分かりませんが暖かい冬だと思っております。

先週、1月30日に魚津交通センターの新春役員会の集まりに出席させていただきました。魚津署管内では現在、死亡事故が600数日間、0件だそうです。1000日になるのが12月1日だそうです。それを目指して皆様方、事故のないように気をつけてください。誰の為でもなく自分のためです。

今日は、「マンサク」と言う木を持って参りました。名前の通り、年の初めにまず咲くので「マンサク」と付けられたと聞いております。四国、九州など暖かい山に自生し、丈が2~3mになり小さいですが花のない時期に咲いてくれます。

米山奨学生 リー・ホー君 皆さんこんにちは。奨学金を頂きましてありがとうございます。最近は大変忙しく、自分の卒業研究、後輩の受験指導、会社から頼まれた研究の仕事も全部、私がやらなければいけません。最近、体も大変疲れていますが心はとても幸せです。この様な研究は好きです。自分ために将来のためにも良いチャンスと思います。だから頑張ります。



幹事報告 国際ロータリー：ロータリーワールドの小冊子が来ております。

年次総会の議事録、前期の議事録、今期の考え方、合わせて3冊です。事務局にあります。

その他：本日例会後理事会です。

出席報告 第2666回 欠席：4名 出席率：88.23% メイキャップ済：吉森さん

第2664回 メイキャップ：なし 出席率 85.7% 変わらず

ニコニコボックス 宮本さん 観光歴史マップ 東京：500枚、県立図書館：500枚 好評です。

委員会報告など 国際交流委員会 池上さん 明日、消防自動車をカンボジアへ持っていくに当たりNPO法人に寄贈します。サンルート玄関前で10:00からです。皆様の参加をお願いします。

この件は、あくまでも理事会終了後の事です。(幹事)

本日の卓話 根岸君 …【私の昭和史】 (今回は中田君の代理です。)

私の生まれは1922年、大正11年生まれです。小さい時の記憶は4歳位までだと思いますが、私の場合は昭和元年頃で、父・母が言う事を聞きますと第一次世界大戦が終ってまもなくの頃です。日本は戦勝国



でありながら景気は非常に悪い時期です。日本は米・英・仏の中に加わっており、ドイツが統治していた南洋諸島を第二次大戦が終えるまで日本の統治下に置かれる事になったのです。

4歳頃、近所のおばさんに大きくなったら何になると聞かれると陸軍大将と答えていたという事を母から良く聞かされました。

私が小学校に入ったのは昭和3年ですが、前橋市立の桃の井小学校で、今でも残っており、終戦の時、総理大臣をやっていた鈴木寛太郎と言う大将の出身校でございます。当時は一クラス55～

60人位×6クラス=300名位で、今の村木小学校などと比べると随分と沢山いたものだと思います。

昭和4・5年頃もまだまだ不景気が続いていましたが、その頃の東北地方の農村は不毛不作が続き、小作農家では70円の小作料が払えず、代わりに小学校の義務教育が済んだ娘などは年奉公に出されるような大変な時期でした。私が3・4年生の頃、朝の登校の道すがら良く見た風景に、遊郭街を通ると13～15歳ぐらいの小娘が上州のからっ風の吹く中で待家の格子戸の棧を、赤い頬にひび割れた赤ぎれの腫れた手で雑巾がけをしている姿をよく見かけたものです。また、その頃の次男・三男は小作として分ける田んぼもなく、口減らしのために軍隊に志願して苦勞を重ね将校になったりしています。東北出身将校集団が2・26事件に関わった多く当時の大臣などの重鎮が犠牲になったものです。

私が小学校5年生の頃だと思いますが、昭和天皇がお生まれになり国を上げての祝賀行事が一週間も続きました。利根川の川原に花火を見に行ったり、提灯行列に父母と一緒に参加したりその頃の光景を思い出します。その頃、父は運送会社をやっていましたが、経営が思わしくなく不景気の波が流通業に押し寄せて私の中学進学を諦めなければなりませんでした。ただ進学するのはクラスで3人程度でした。中学を断念した私は前橋市立久留万尋常高等小学校へ入学しました。その頃は早く大人になりたいと思うようになり、早く社会人になり中学を出た友人たちより偉くなりたいと思う毎日でした。

しばらくたって、親父がオートバイ屋さんを始めました。その頃、日本製はなくてハーレーなどの米国製が主流でした。今は自動車や自転車はコンクリートの上に乗りますが、当時は油で茶色くなった土の上にスタンドを立てる訳ですが、バイクのハンドルで私が遊んでいて引っ繰り返して口のところを、怪我をしてしまい縫ってもらったものです。今のこの髭はそれをごまかしている訳です。

いよいよ私も小学校を卒業し、それから私は写真の世界に入ります。当時は徒弟制度が多いのですが、その制度は非常に素晴らしいのです。私の息子二人は写真の大学を出ましたが、細かい事は何も教えてもらわず難しい事になると私に聞いてきました。太った人と痩せた人をどう言うアングルで撮るかなどは教えてくれません。今では、魚津に7件あった写真屋さんは、私のところ1件になってしまいました。勉強をしなければダメです。私は息子たちに一生懸命に教え込みました。1600年代のオランダの画家の自画像の一部を勉強の基にして、今でもレンブラントライティング法と言うものを、スタジオを持った写真屋さんに浸透させております。 ……時間がなくなりました。続きは次の機会とさせていただきます。 【以上】

